

結婚についての考えで、『そう思う(計)』の割合は「(イ)結婚する、しないは、個人の自由である」が93.0%で最も高く、前回調査よりも7.2ポイント上昇している。以下「(ア)女性も男性も結婚した方がよい」が57.4%、「(オ)結婚したら子どもを持つ方がよい」が55.0%と続いている。

一方、『そう思わない(計)』の割合は「(ウ)結婚は個人の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい」が79.4%で最も高く、次いで「(ケ)結婚している、していないにかかわらず、女性が自立して生きやすい社会になっている」が64.3%、「(キ)結婚した以上離婚すべきではない」が61.8%と続いている。

【前回調査(令和元年)との比較】

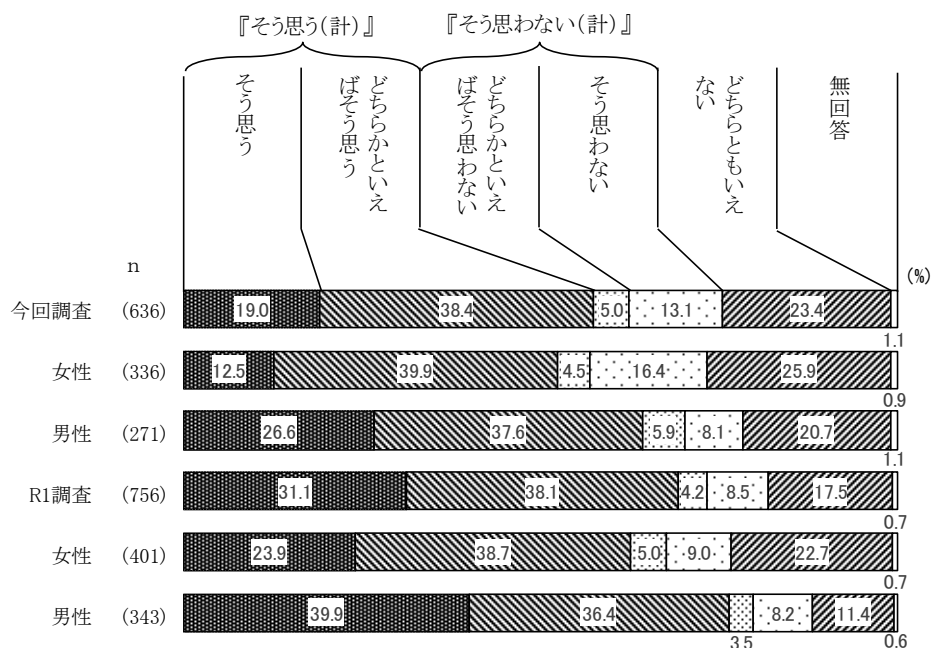
前回調査と比較すると、『そう思う(計)』の割合は、「(ア)女性も男性も結婚した方がよい」で11.8ポイント、「(オ)結婚したら子どもを持つ方がよい」で12.7ポイント、それぞれ低くなっている。また、『そう思わない(計)』の割合は、「(カ)子どもを産み育てるのに、戸籍の上で結婚しているかどうかは関係ない」で16.7ポイント低くなっている。

(ア) 女性も男性も結婚した方がよい

【性別・前回調査(令和元年)との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う(計)』の割合は女性で10.2ポイント、男性で12.1ポイント、それぞれ低くなっている。

一方、『そう思わない(計)』の割合は、女性で6.9ポイント、男性で2.3ポイント、それぞれ高くなっている。



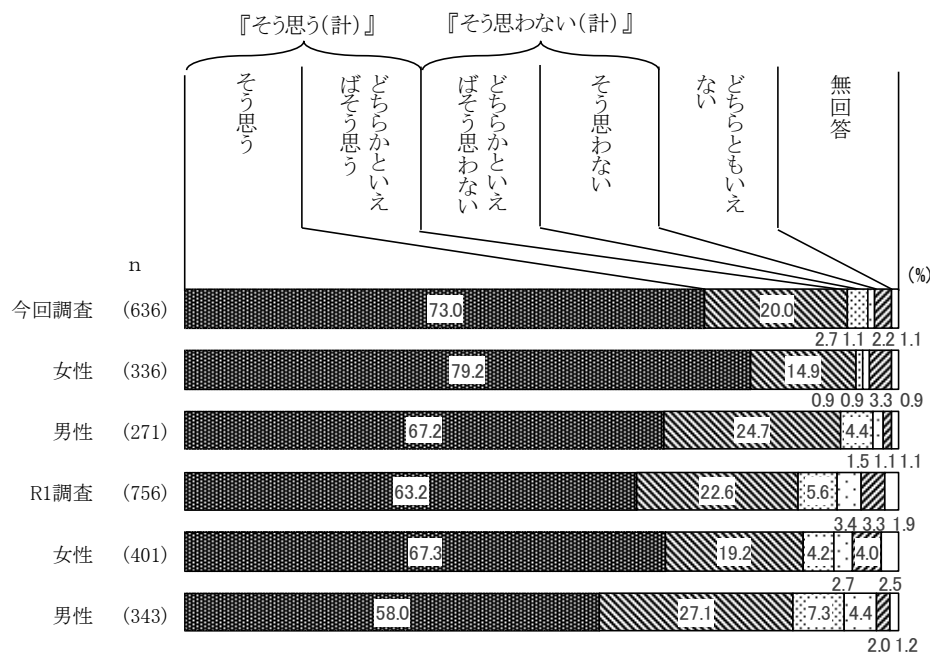
調査の結果／2. 家庭について

(1) 結婚についての考え

(イ) 結婚する、しないは、個人の自由である

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

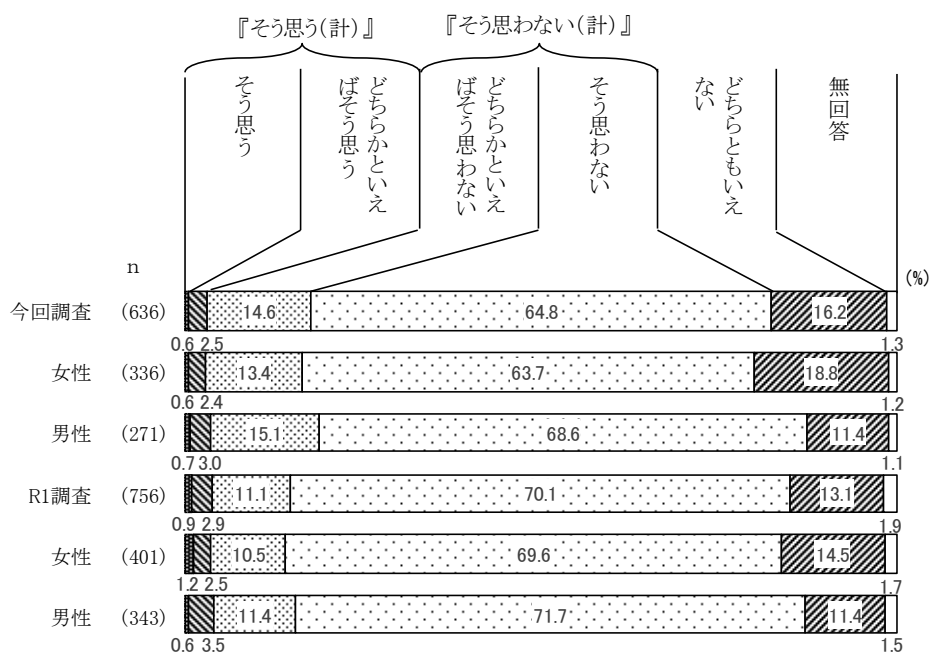
前回調査と比較すると、『そう思う（計）』の割合は女性で7.6ポイント、男性で6.8ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『そう思わない（計）』の割合は女性で5.1ポイント、男性で5.8ポイント、それぞれ低くなっている。



(ウ) 結婚は個人の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

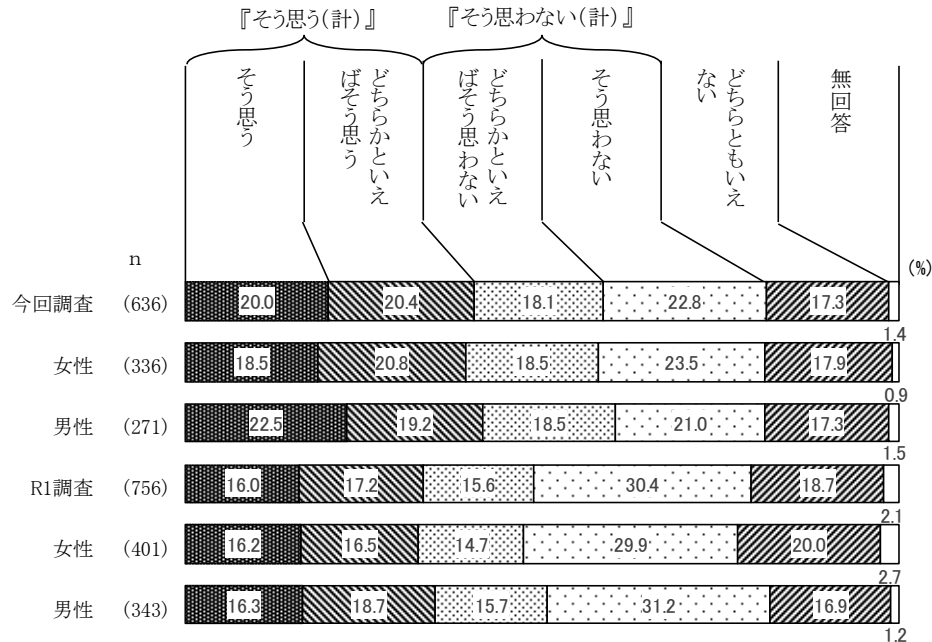
前回調査と比較すると、大きな差異はみられない。



(エ) 結婚と性的関係は別である

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

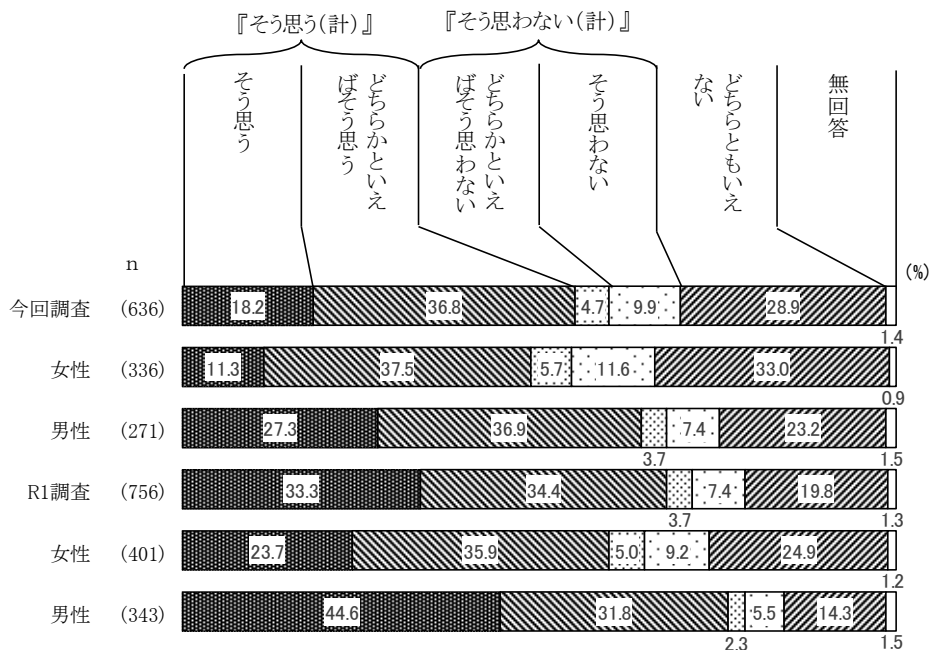
前回調査と比較すると、『そう思う（計）』の割合は女性で6.6ポイント、男性で6.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『そう思わない（計）』の割合は女性で2.6ポイント、男性で7.4ポイント低くなっている。



(オ) 結婚したら子どもを持つ方がよい

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う（計）』の割合は女性で10.8ポイント、男性で12.2ポイントそれぞれ低くなっている。また、「どちらともいえない」の割合は、男性で8.9ポイント、女性で8.1ポイント、それぞれ高くなっている。



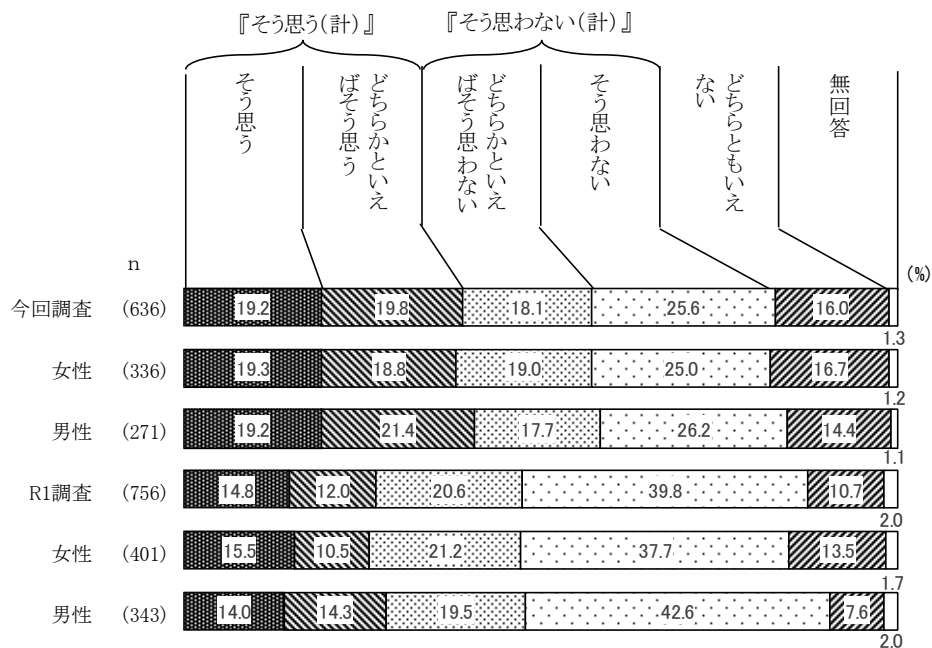
調査の結果／2. 家庭について

(1) 結婚についての考え

(カ) 子どもを産み育てるのに、戸籍の上で結婚しているかどうかは関係ない

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

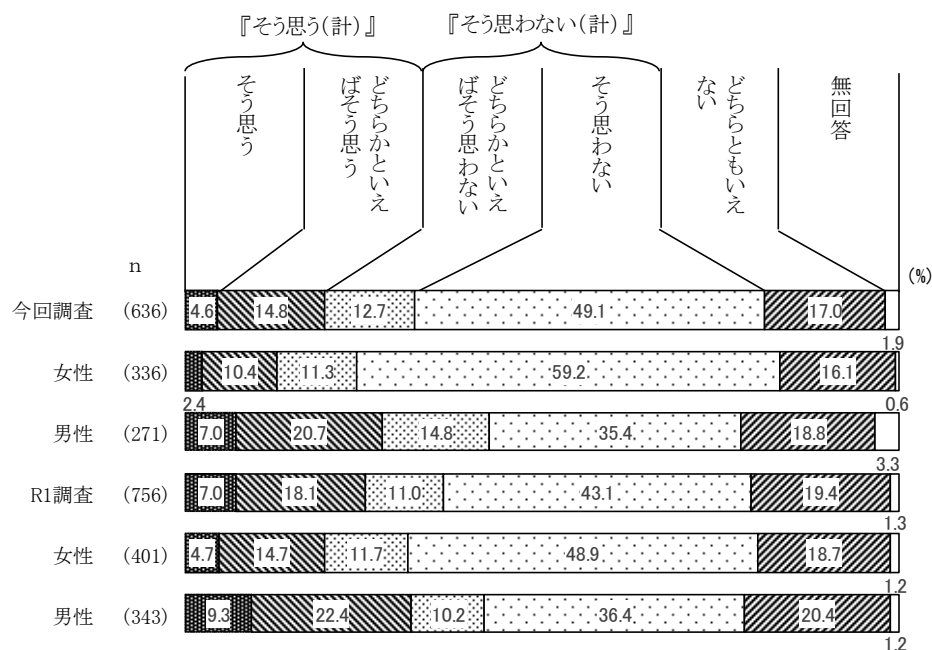
前回調査と比較すると、『そう思う（計）』の割合は女性で12.1ポイント、男性で12.3ポイント、それぞれ高くなっている。一方、『そう思わない（計）』の割合は、女性で14.9ポイント、男性で18.2ポイント、それぞれ低くなっている。



(キ) 結婚した以上離婚すべきではない

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

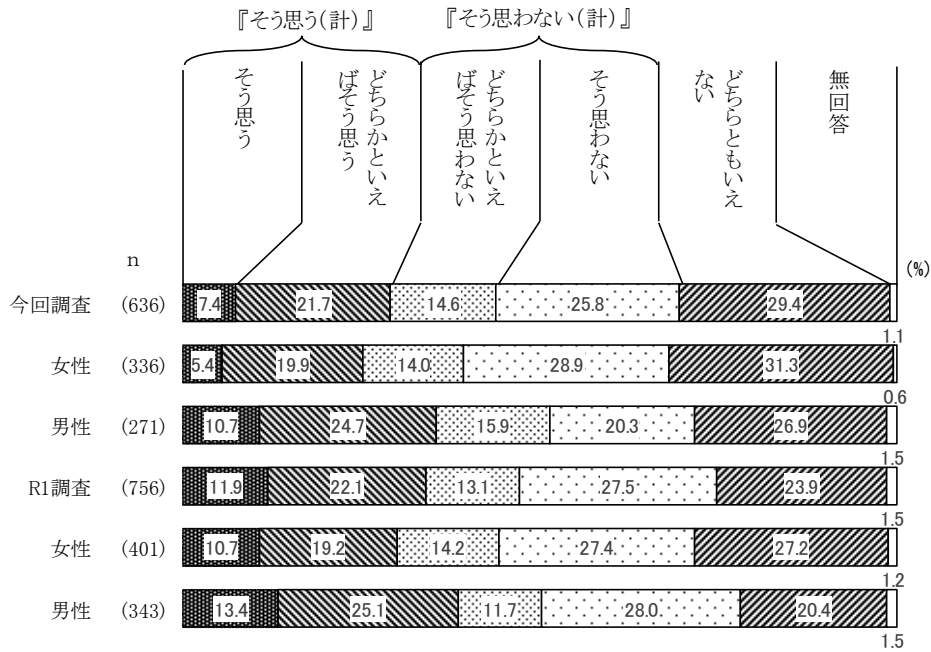
前回調査と比較すると、『そう思う（計）』の割合は女性で6.6ポイント、男性で4.0ポイント、それぞれ低くなっている。一方、『そう思わない（計）』の割合は女性で9.9ポイント、男性で3.6ポイント、それぞれ高くなっている。



(ク) 子どもができたなら結婚すればいい

【性別・前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、『そう思う（計）』の割合は女性で4.6ポイント、男性で3.1ポイント、それぞれ低くなっている。



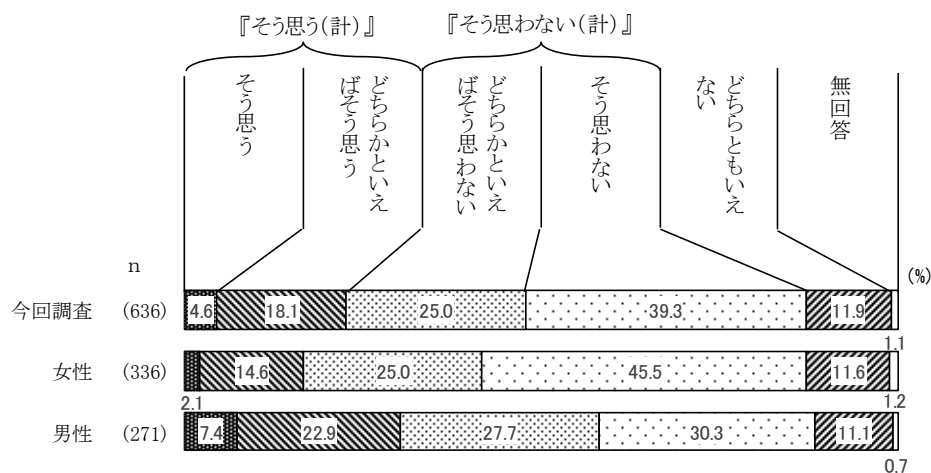
(ケ) 結婚している、していないにかかわらず、女性が自立して生きやすい社会になっている

【新規項目】

【性別】

『そう思う（計）』の割合は、男性が女性よりも13.6ポイント高くなっている。

一方、『そう思わない（計）』の割合は、女性が男性よりも12.5ポイント高くなっている。



(R1 調査なし)

調査の結果／2. 家庭について

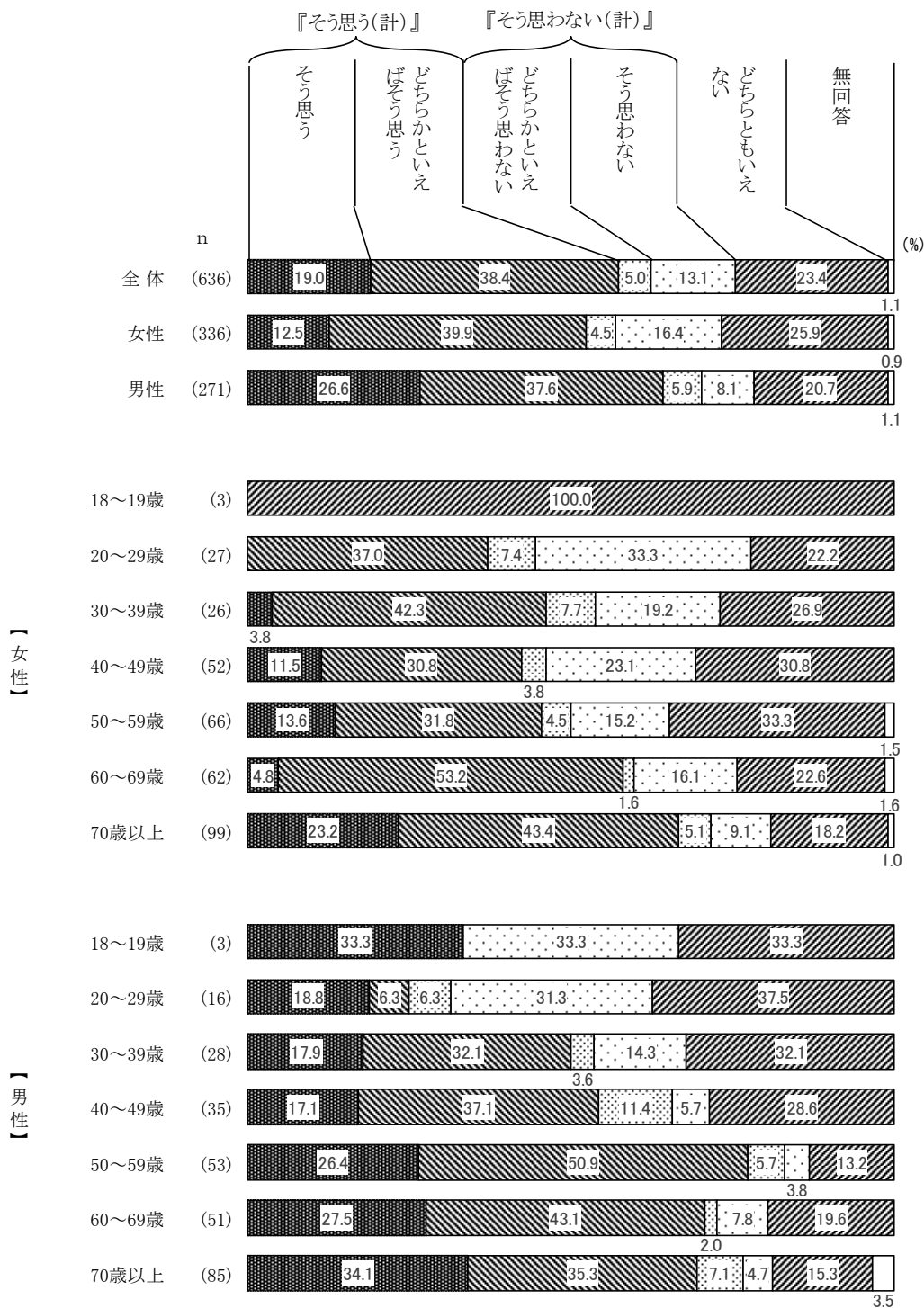
(1) 結婚についての考え

(ア) 女性も男性も結婚した方がよい

【性・年齢別】

『そう思う（計）』の割合は、男性が女性よりも11.8ポイント高くなっており、男性50～59歳、男性60～69歳で『そう思う（計）』の割合が7割を超えている。

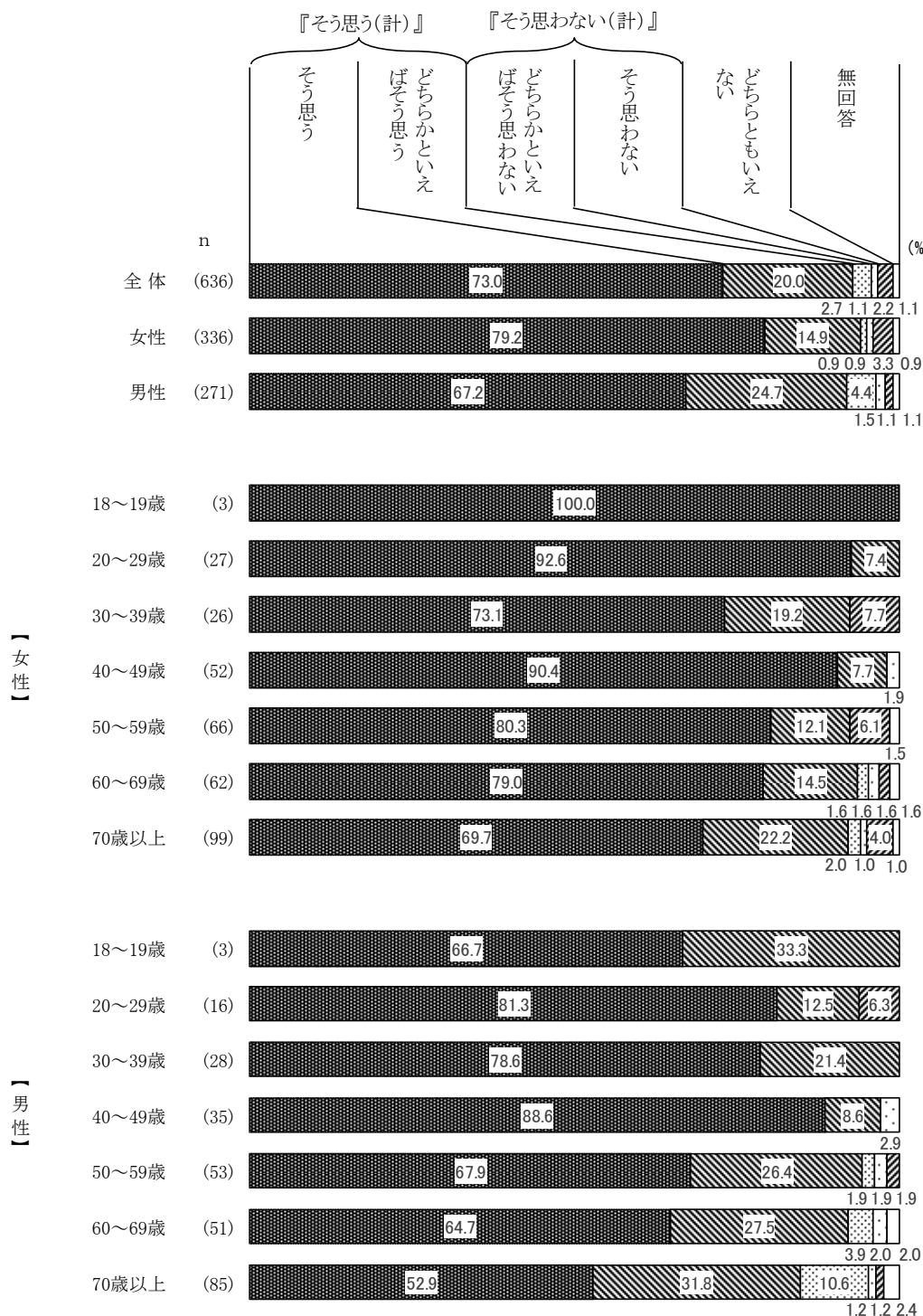
20～29歳では、女性男性ともに『そう思わない（計）』が『そう思う（計）』よりも高くなって



(イ) 結婚する、しないは、個人の自由である

【性・年齢別】

男性70歳以上を除くすべての年代において、女性も男性も『そう思う（計）』の割合は9割を超えている。



調査の結果／2. 家庭について

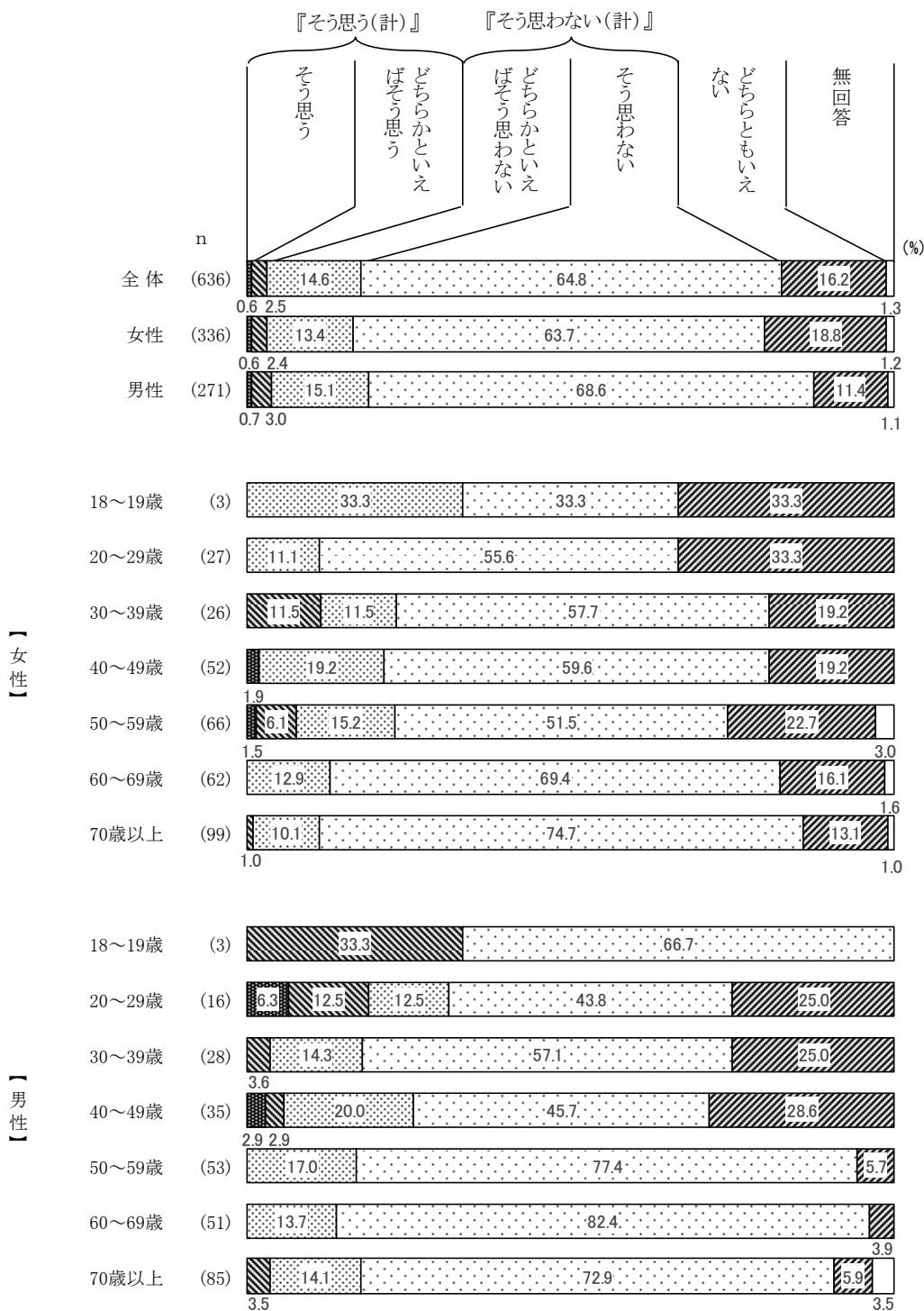
(1) 結婚についての考え

(ウ) 結婚は個人の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい

【性・年齢別】

すべての年代で女性も男性も『そう思わない(計)』が『そう思う(計)』を上回っており、特に、男性60～69歳、男性50～59歳で『そう思わない(計)』の割合が9割を超えている。

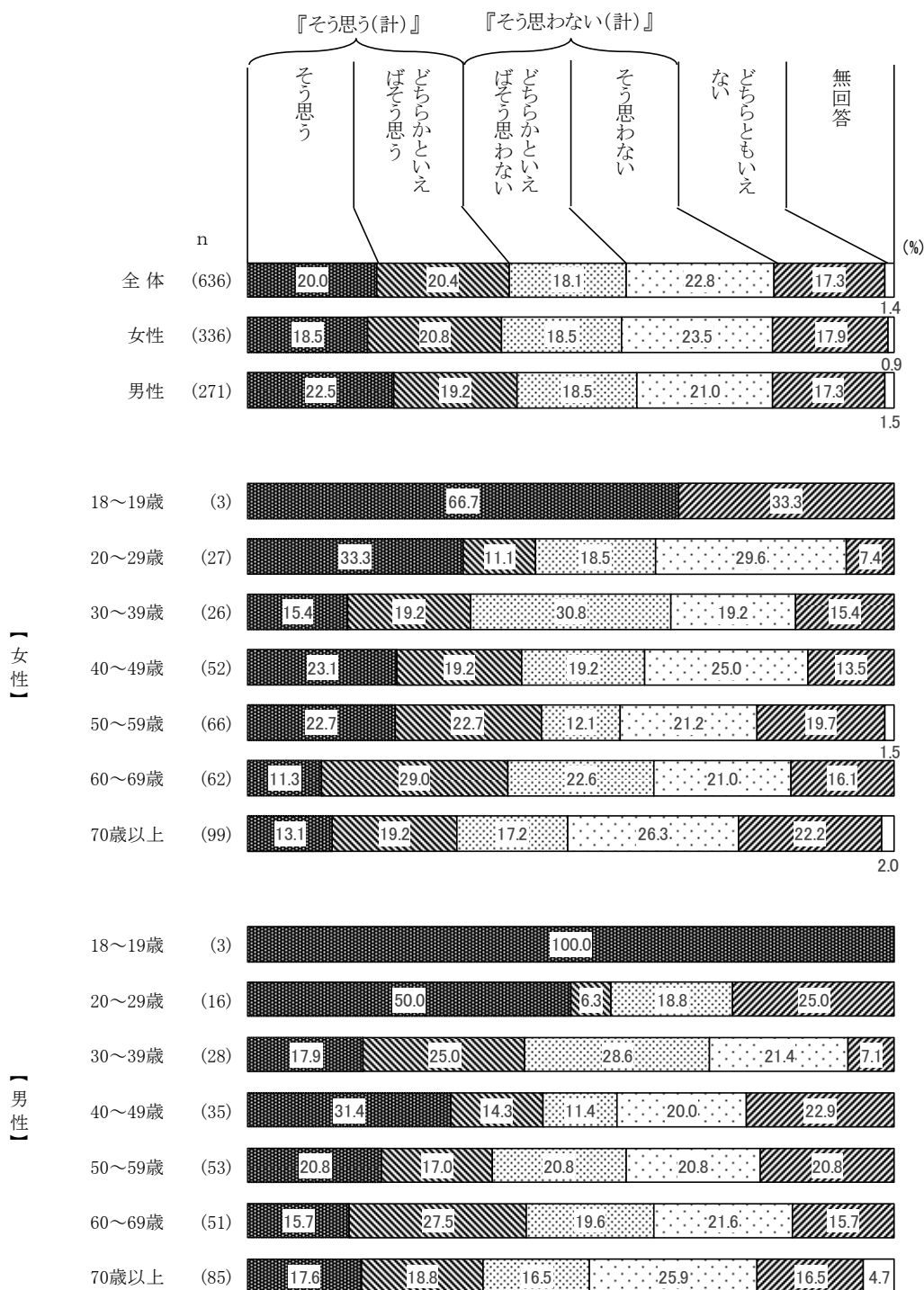
『そう思わない(計)』の割合は、男性が女性よりも6.6ポイント高くなっている。



(エ) 結婚と性的関係は別である

【性・年齢別】

性・年齢別で、大きな差異はみられない。



調査の結果／2. 家庭について

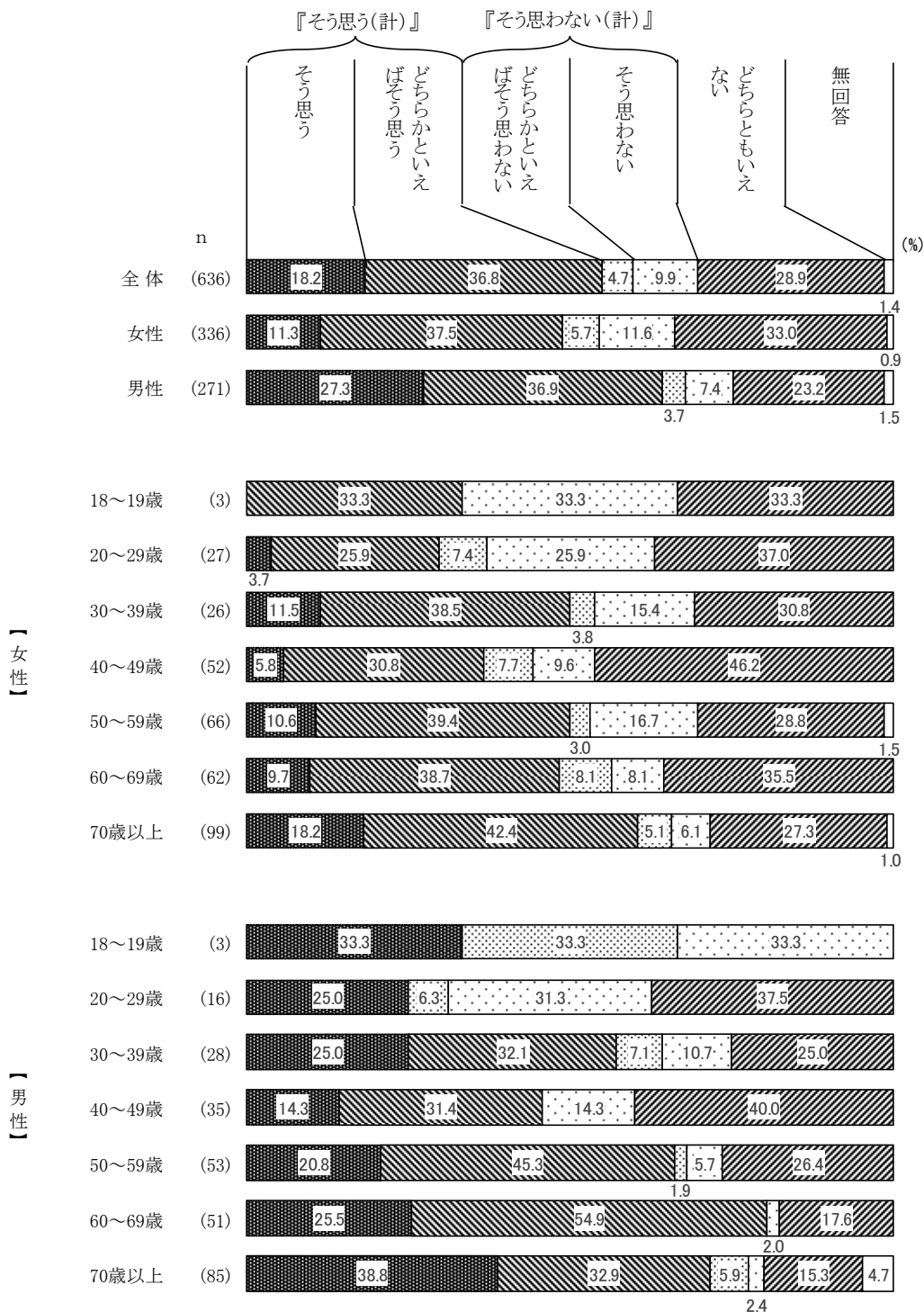
(1) 結婚についての考え

(オ) 結婚したら子どもを持つ方がよい

【性・年齢別】

『そう思う（計）』の割合は、男性が女性よりも15.4ポイント高くなっており、特に、男性60～69歳、男性70歳以上で7割を超えている。

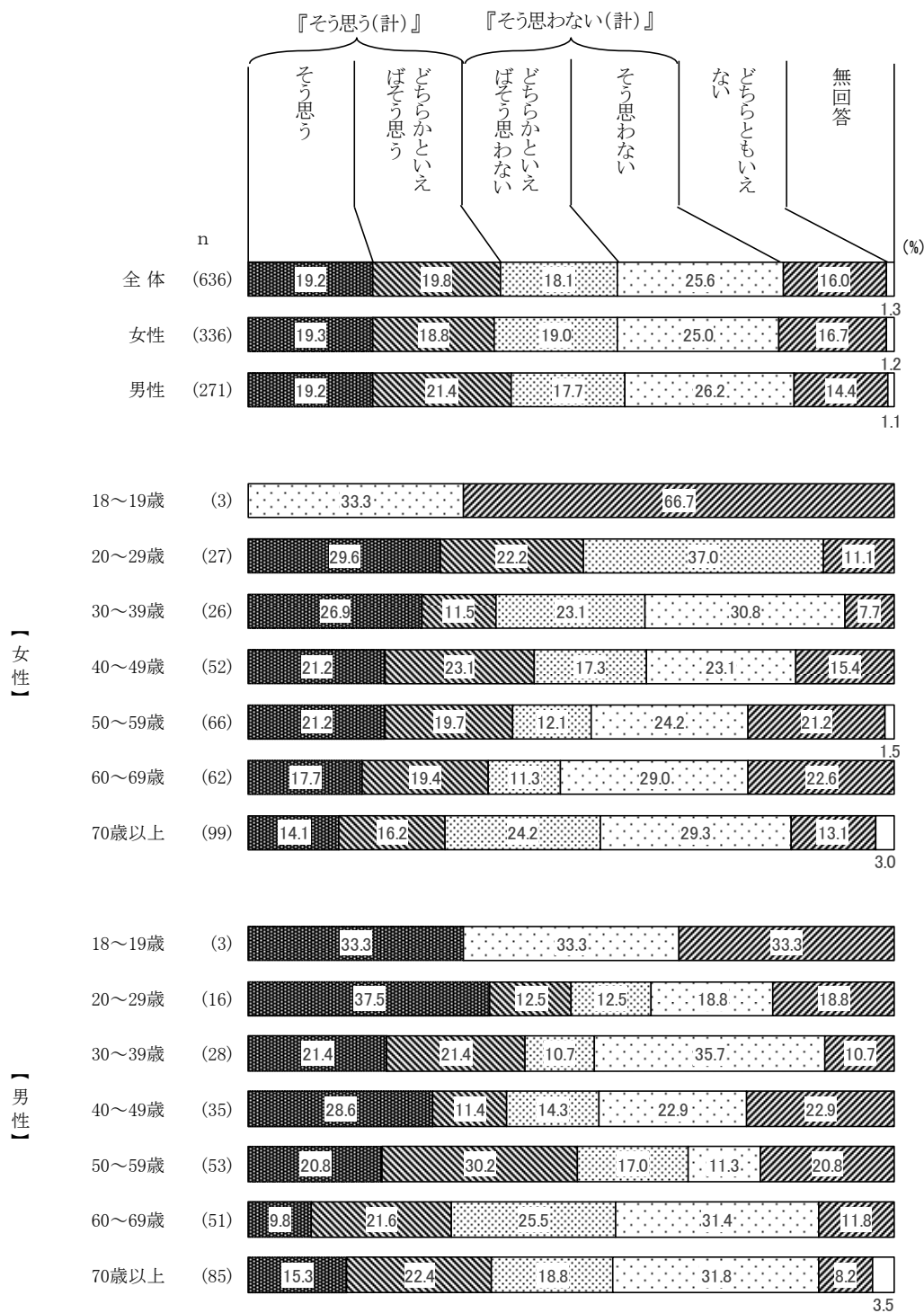
20～29歳では、女性男性ともに『そう思わない（計）』が『そう思う（計）』よりも高くなって



(カ) 子どもを産み育てるのに、戸籍の上で結婚しているかどうかは関係ない

【性・年齢別】

『そう思う(計)』の割合は、女性20～29歳、男性50～59歳、男性20～29歳で5割以上となっている。一方、『そう思わない(計)』の割合は、男性60～69歳で56.9%と最も高くなっている。



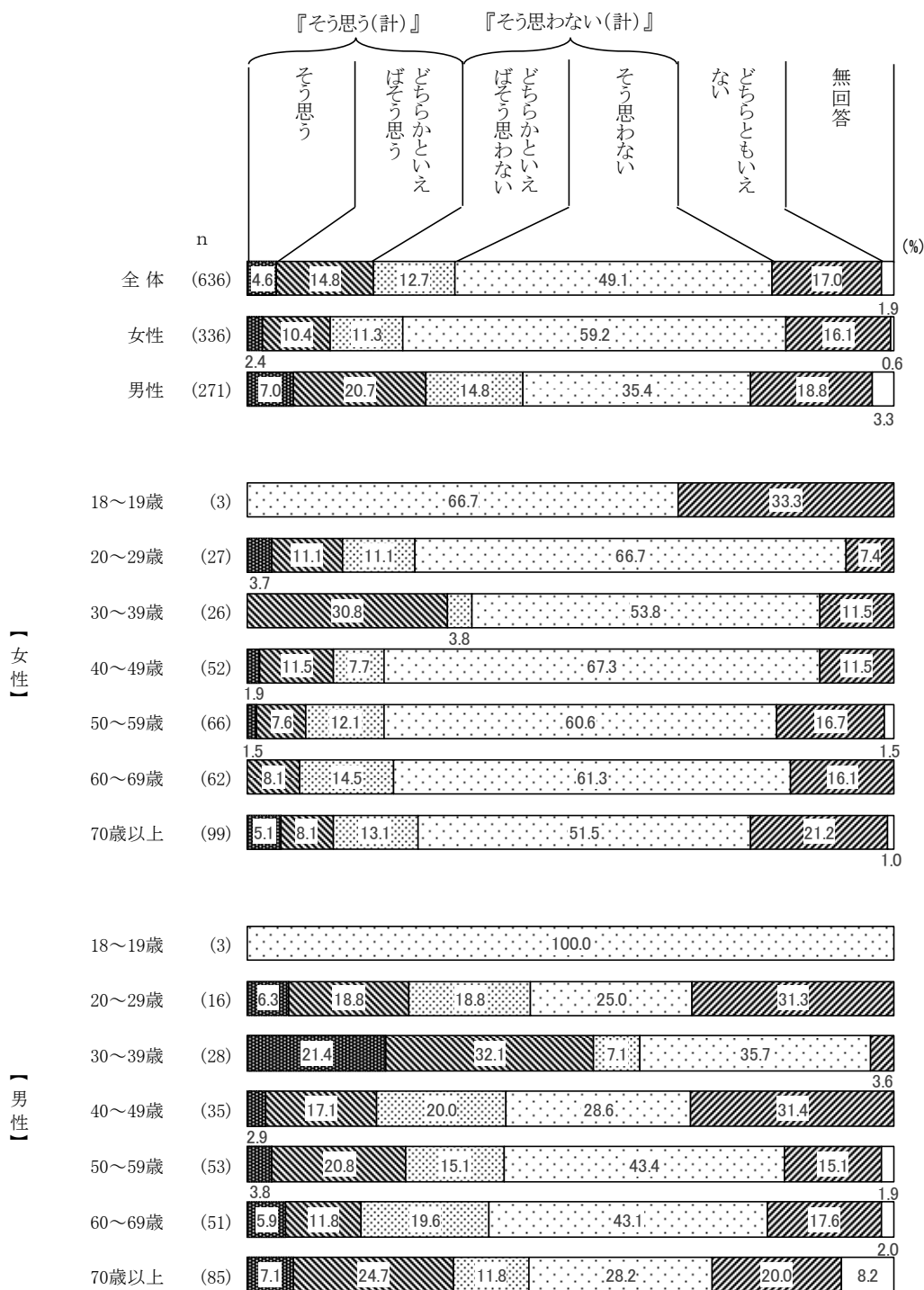
調査の結果／2. 家庭について

(1) 結婚についての考え

(キ) 結婚した以上離婚すべきではない【性・年齢別】

『そう思う(計)』の割合は、男性が女性よりも14.9ポイント高くなっている。一方、『そう思わない(計)』の割合は、女性が男性よりも20.3ポイント高くなっている。

『そう思わない(計)』の割合は、女性では30～39歳と70歳以上を除く年代で7割を超えている。男性は30～39歳で『そう思う(計)』が『そう思わない(計)』よりも高くなっている。

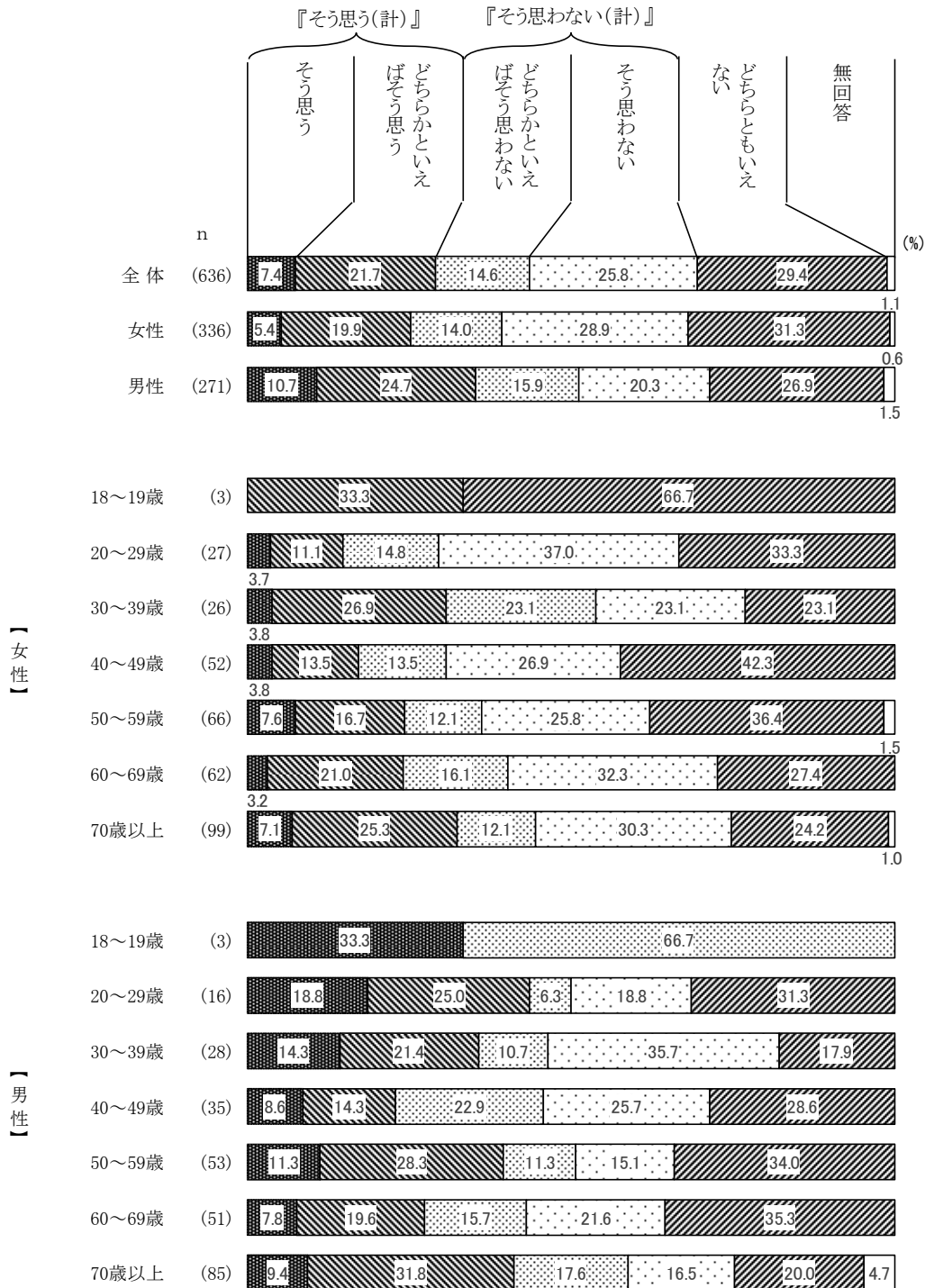


(ク) 子どもができたら結婚すればいい

【性・年齢別】

『そう思う(計)』の割合は、男性が女性よりも10.1ポイント高くなっている一方、『そう思わない(計)』の割合は、女性が男性よりも6.7ポイント高くなっている。

女性はすべての年代において『そう思わない(計)』が『そう思う(計)』よりも高くなっている。男性は、20～29歳、50～59歳、70歳以上で『そう思う(計)』が『そう思わない(計)』よりも高くなっている。



調査の結果／2. 家庭について

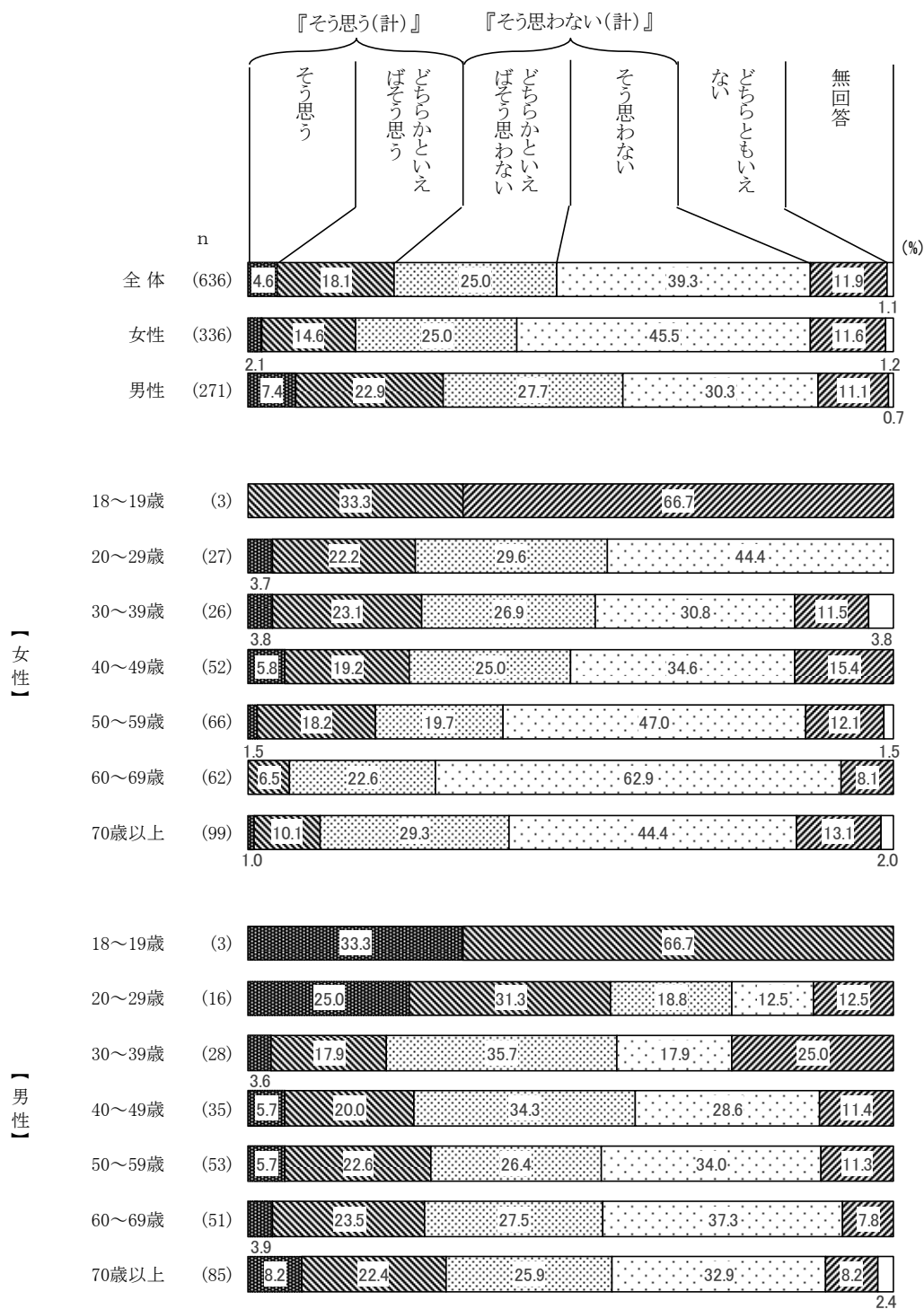
(1) 結婚についての考え

(ケ) 結婚している、していないにかかわらず、女性が自立して生きやすい社会になっている

【性・年齢別】

『そう思う（計）』の割合は、男性が女性よりも13.6ポイント高くなっている一方、『そう思わない（計）』の割合は、女性が男性よりも12.5ポイント高くなっている。

女性はすべての年代において『そう思わない（計）』が『そう思う（計）』よりも高くなっている。男性は20～29歳で『そう思う（計）』が『そう思わない（計）』よりも高くなっている。



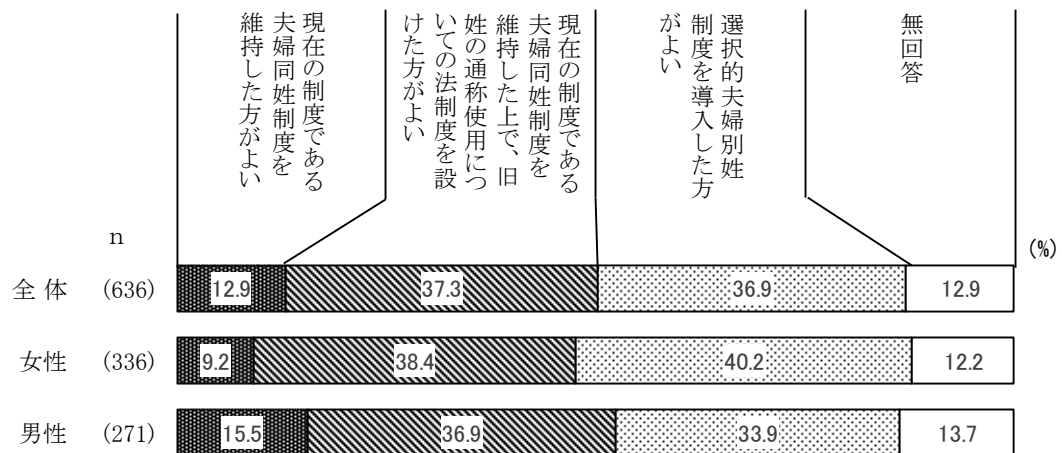
(2) 選択的夫婦別姓制度についての考え〔新規〕

問4. 現在の制度である夫婦同姓制度(*1)を維持すること、選択的夫婦別姓制度(*2)を導入すること及び旧姓の通称使用についての法制度(*3)を設けることについて、あなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。

(*1)夫婦は必ず同じ名字・姓を名乗らなければならない制度

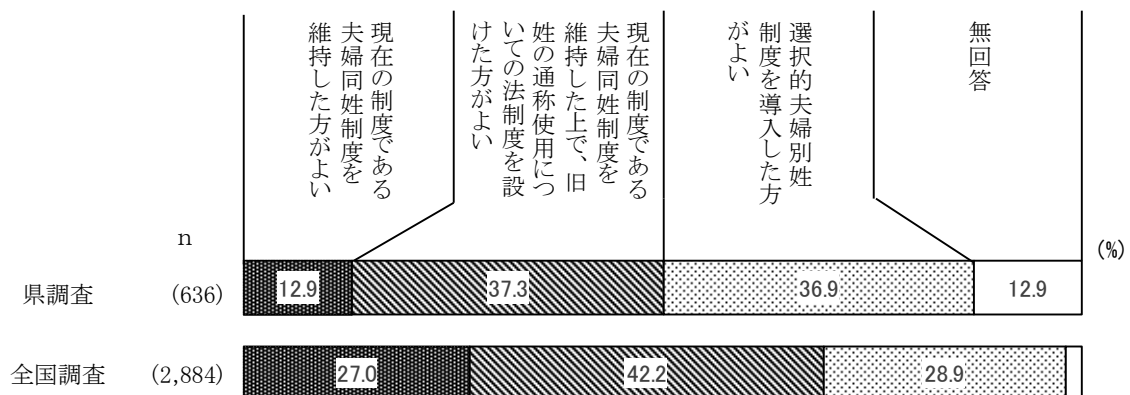
(*2)夫婦は、同じ名字・姓を名乗るか、それぞれ婚姻前の名字・姓を名乗るかを選択できるようにする制度

(*3)婚姻で名字・姓を変えた人は、旧姓を通称として、幅広く使うことができるようにする法制度



選択的夫婦別姓制度についての考えでは、「現在の制度である夫婦同姓制度を維持した上で、旧姓の通称使用についての法制度を設けた方がよい」が37.3%、「選択的夫婦別姓制度を導入した方がよい」が36.9%で、それぞれ約4割となっている。

(参考) 全国調査：内閣府「家族の法制に関する世論調査（令和3年12月調査）」

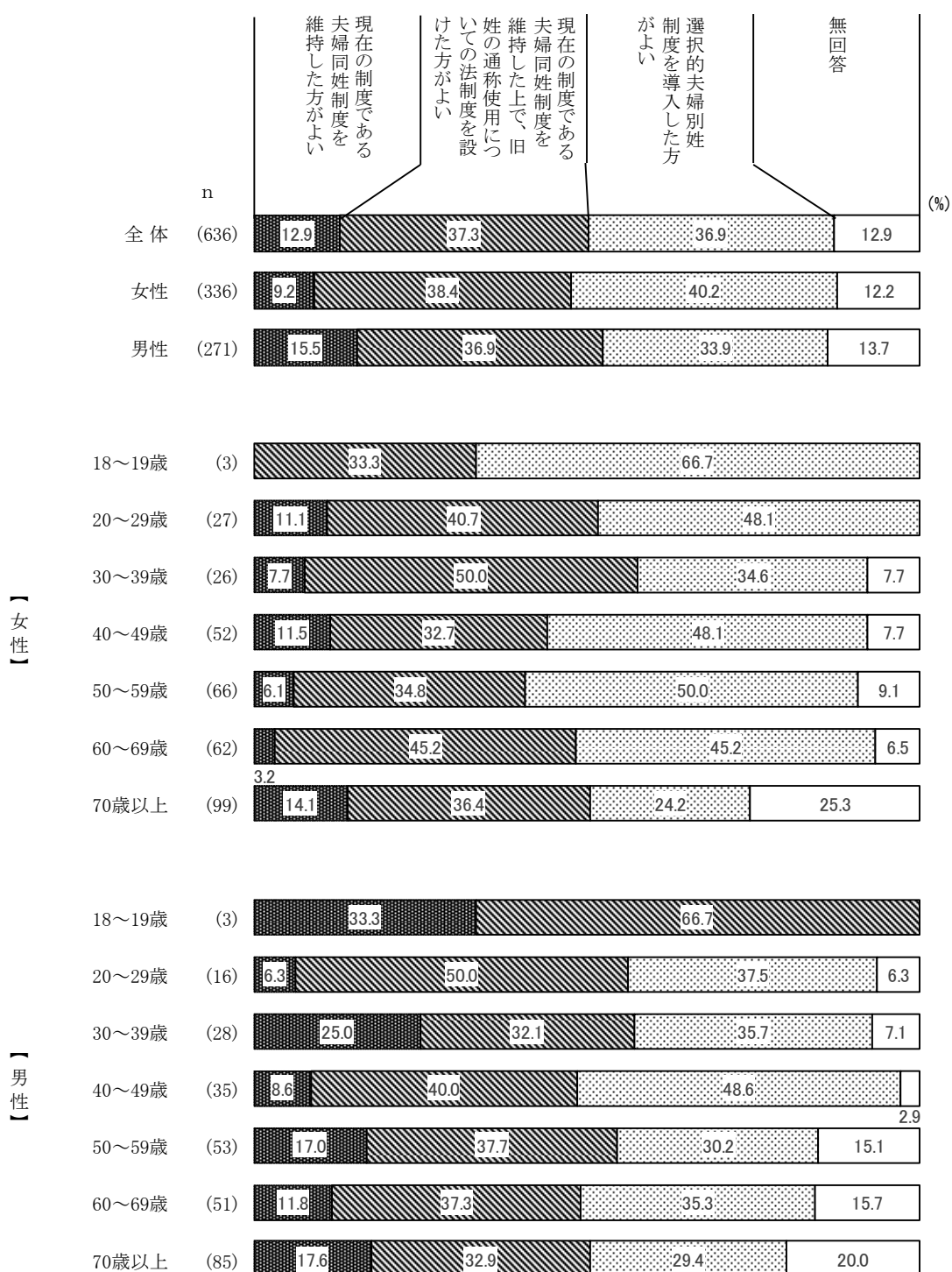


【性・年齢別】

「現在の制度である夫婦同姓制度を維持したほうがよい」と答えた割合は、男性が女性よりも6.3ポイント高くなっており、「現在の制度である夫婦同姓制度を維持した上で、旧姓の通称使用についての法制度を設けたほうがよい」と答えた割合で1.5ポイント、「選択的夫婦別姓制度を導入したほうがよい」と答えた割合で6.3ポイント、女性が男性よりも高くなっている。

「現在の制度である夫婦同姓制度を維持した上で、旧姓の通称使用についての法制度を設けたほうがよい」と答えた割合が最も高いのは女性30～39歳、男性20～29歳で50.0%となっている。

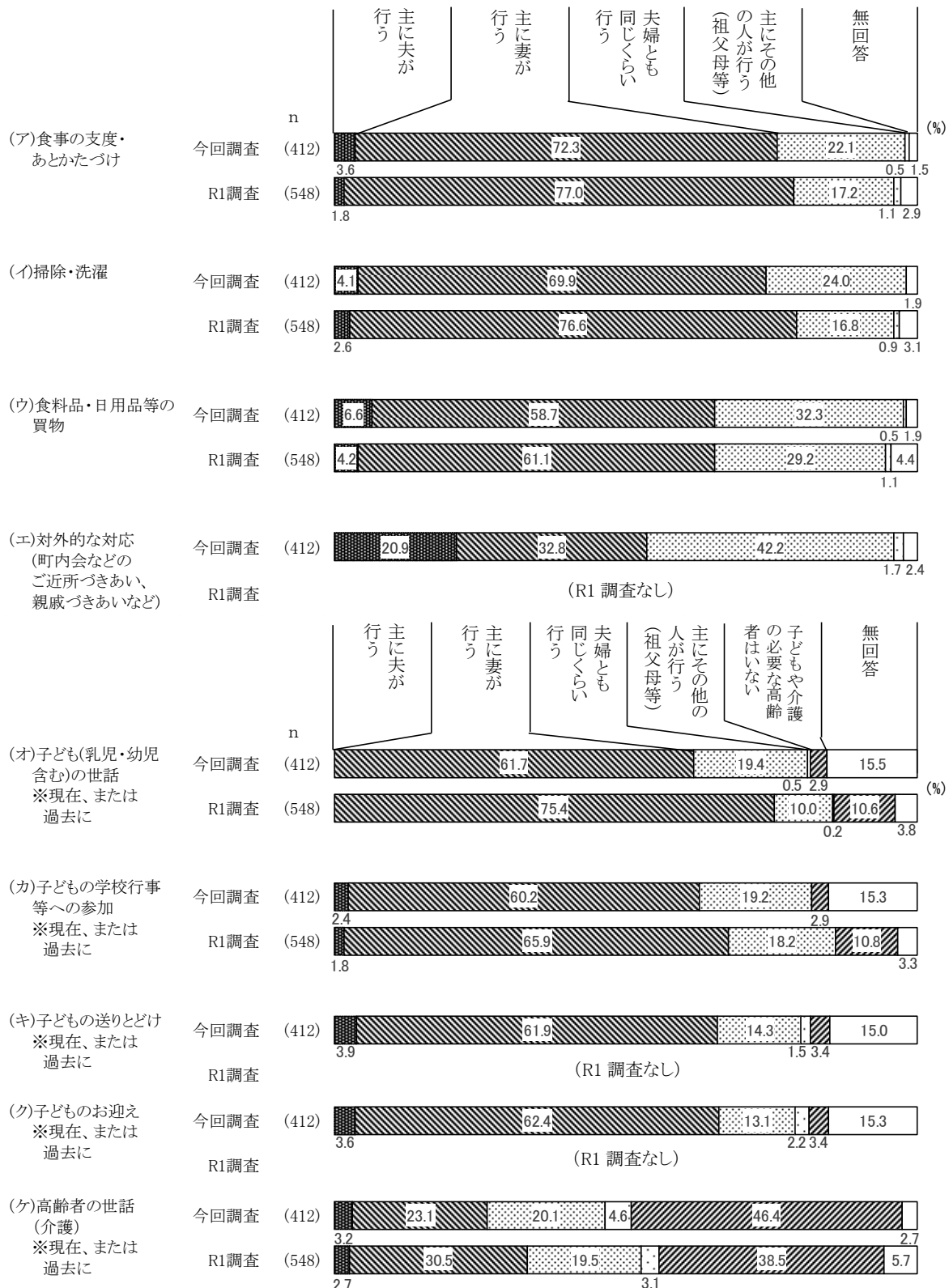
「選択的夫婦別姓制度を導入したほうがよい」と答えた割合が最も高いのは女性50～59歳で50.0%となっている。



(3-1) 家事等の役割分担 ①現在の仕事の分担

※現在結婚（事実婚を含む）している方のみお答えください。

問5. あなたのご家庭では現在、家事・育児・介護の日常的な仕事は、主にどなたがしていますか。
また、あなたはどのような仕事の分担が理想的だと考えますか。(ア)～(ツ)それぞれについて、あなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。



調査の結果／2. 家庭について

(3-1) 家事等の役割分担 ①現在の仕事の分担

家庭における家事等の現在の仕事分担について、『主に夫が行う』の割合が最も高いのは「(エ)対外的な対応(町内会などのご近所づきあい、親戚づきあいなど)」で20.9%となっている。

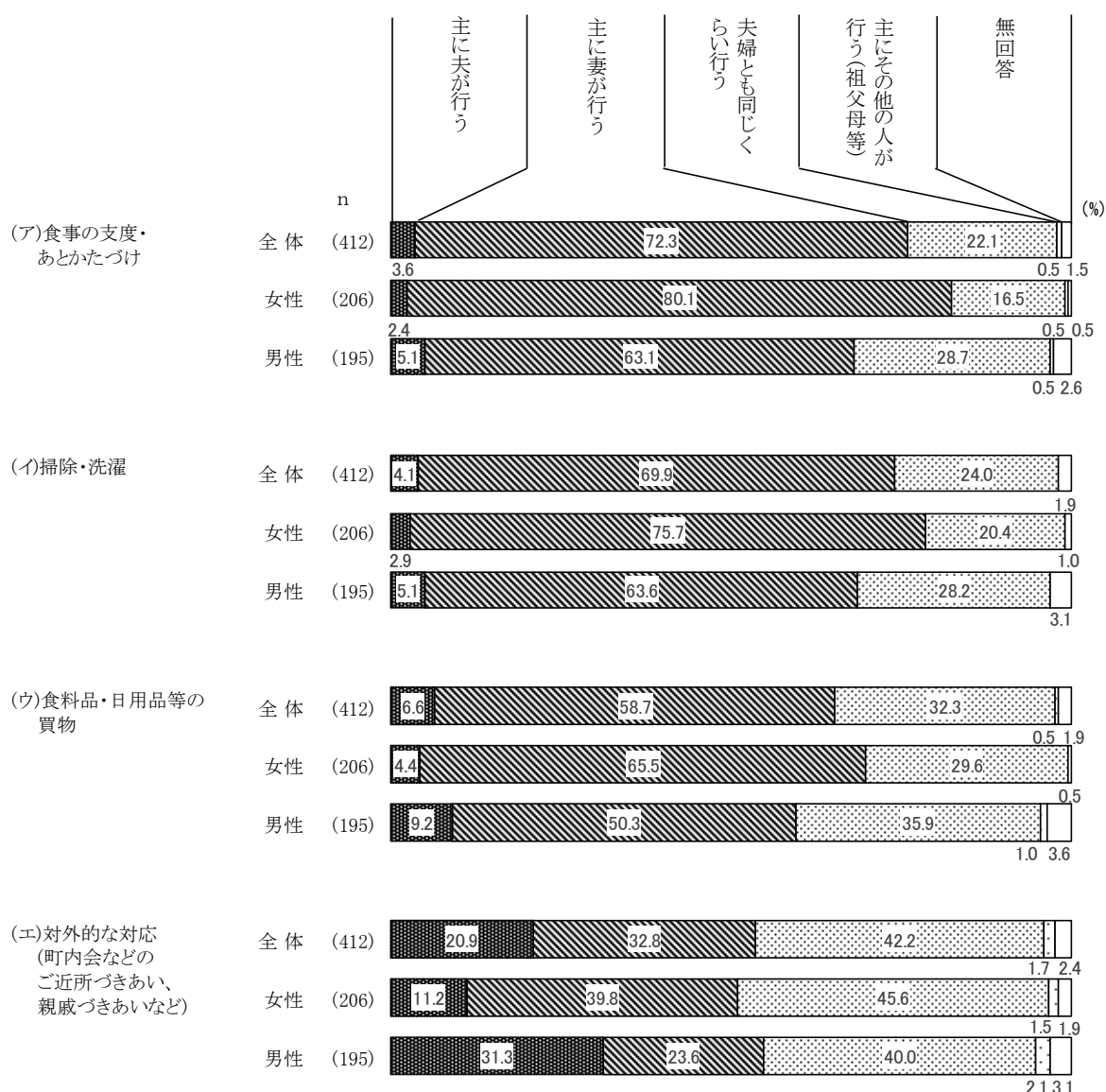
『主に妻が行う』の割合は「(ア)食事の支度・あとかたづけ」が72.3%で最も高く、以下「(イ)掃除・洗濯」(69.9%)、「(ク)子どものお迎え」(62.4%)が続いている。

『夫婦とも同じくらい行う』は「(エ)対外的な対応(町内会などのご近所づきあい、親戚づきあいなど)」が42.2%で最も高く、以下「(ウ)食料品・日用品等の買物」(32.3%)、「(イ)掃除・洗濯」(24.0%)が続いている。

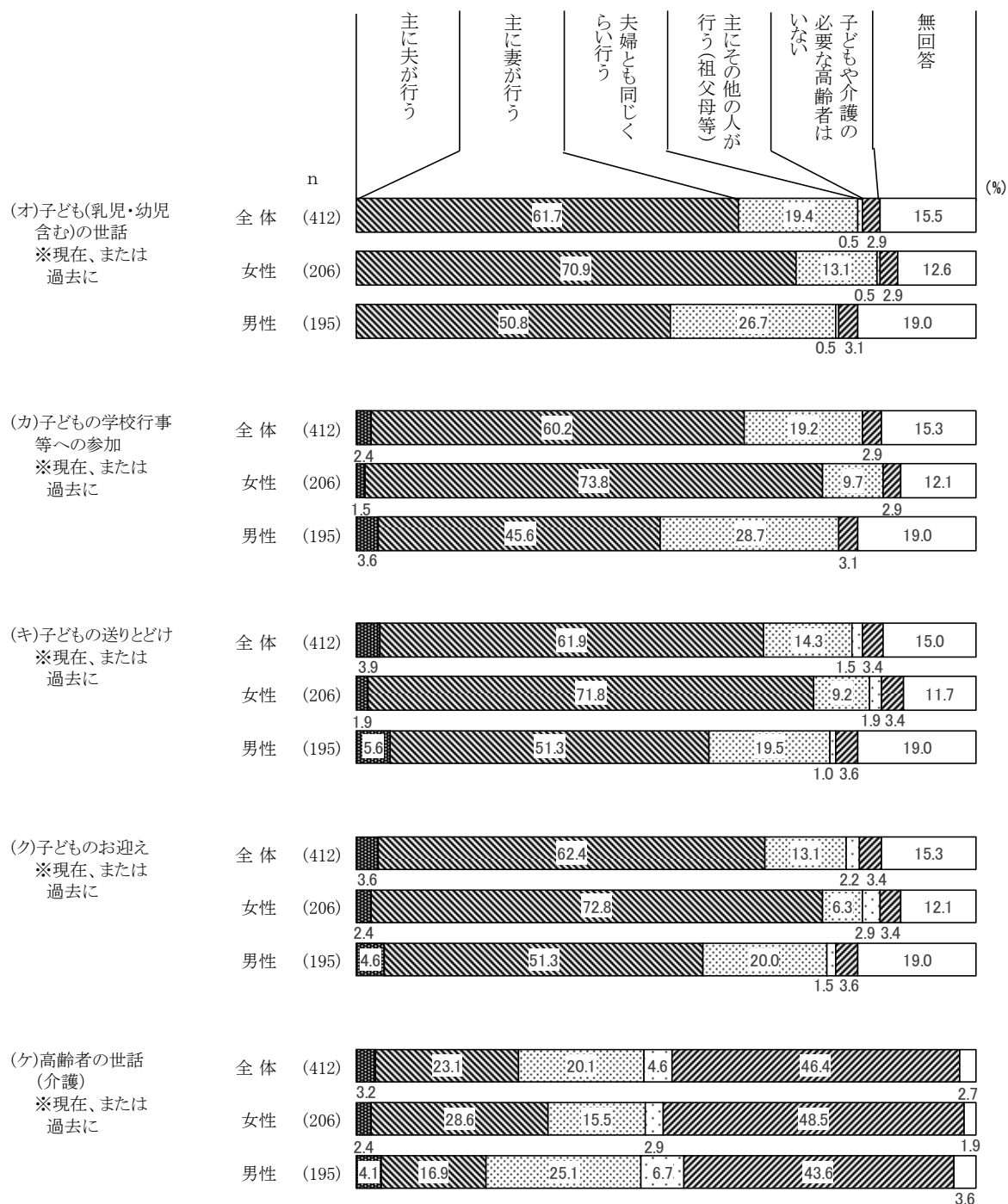
【前回調査(令和元年)との比較】

前回調査と比較すると、「(イ)掃除・洗濯」では、『主に妻が行う』と答えた割合が6.7ポイント低くなっている一方、『夫婦とも同じくらい行う』と答えた割合が7.2ポイント高くなっている。また、「(オ)子ども(乳児・幼児含む)の世話」では、『主に妻が行う』と答えた割合が13.7ポイント低くなっている一方、『夫婦とも同じくらい行う』と答えた割合が9.4ポイント高くなっている。

【性別】



調査の結果／ 2. 家庭について
(3-1) 家事等の役割分担 ①現在の仕事の分担



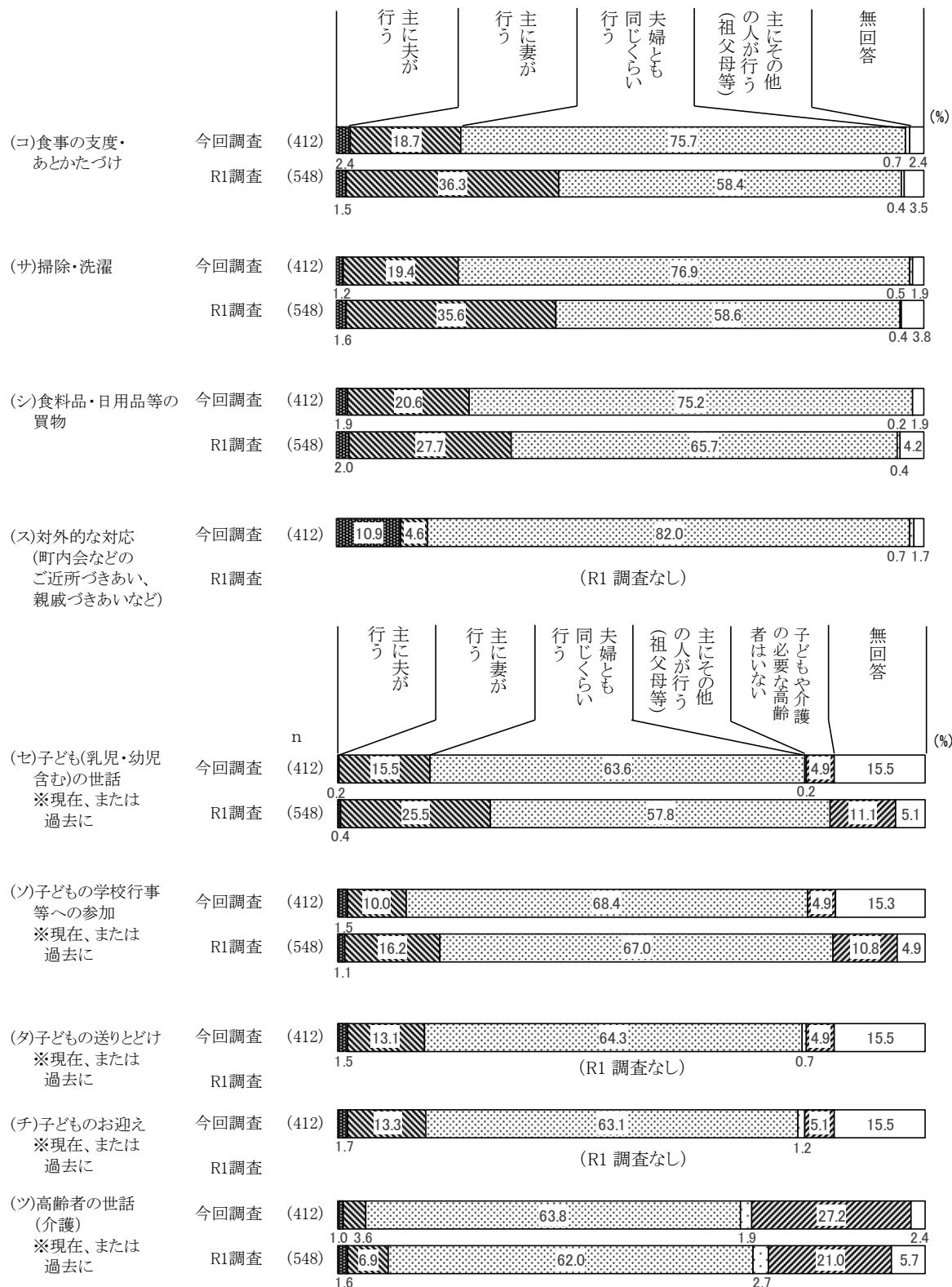
「(エ)対外的な対応(町内会などのご近所づきあい、親戚づきあいなど)」では、『主に夫が行う』と答えた割合は、男性が女性よりも20.1ポイント高くなっている一方、『主に妻が行う』と答えた割合は、女性が男性よりも16.2ポイント高くなっている。

(オ) から (ク) の子どもに関連した家事について、「(カ) 子供の学校行事等への参加」では、『主に妻が行う』と答えた割合は、女性が男性よりも28.2ポイント高くなっている一方、『夫婦とも同じくらい行う』と答えた割合は、男性が女性よりも19.0ポイント高くなっており、(オ) (キ) (ク) でも同様の傾向がみられる。

(3-2) 家事等の役割分担 ②理想と考える仕事の分担

※現在結婚（事実婚を含む）している方のみお答えください。

問5. あなたのご家庭では現在、家事・育児・介護の日常的な仕事は、主にどなたがしていますか。
また、あなたはどのような仕事の分担が理想的だと考えますか。(ア)～(ツ)それぞれについて、あなたの考えに最も近い番号ひとつに○をつけてください。



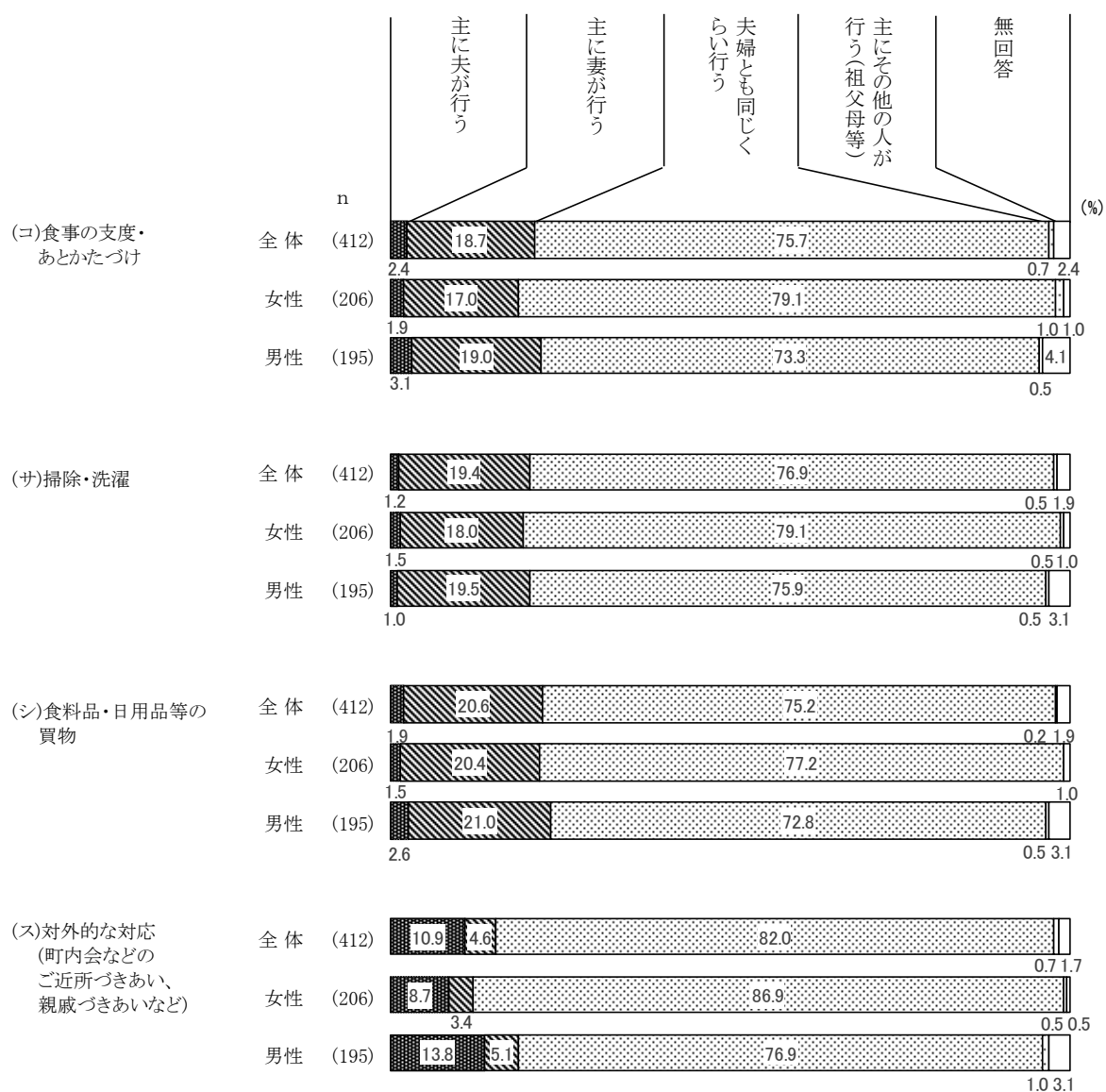
理想と考える仕事の分担は、すべての項目において『夫婦とも同じくらい行う』と答えた割合が最も高くなっている。

【前回調査（令和元年）との比較】

前回調査と比較すると、『主に妻が行う』と答えた割合は「(コ)食事の支度・あとかたづけ」で17.6ポイント、「(サ)掃除・洗濯」で16.2ポイント、「(セ)子ども(乳児・幼児含む)の世話」で10.0ポイント、それぞれ低くなっている。

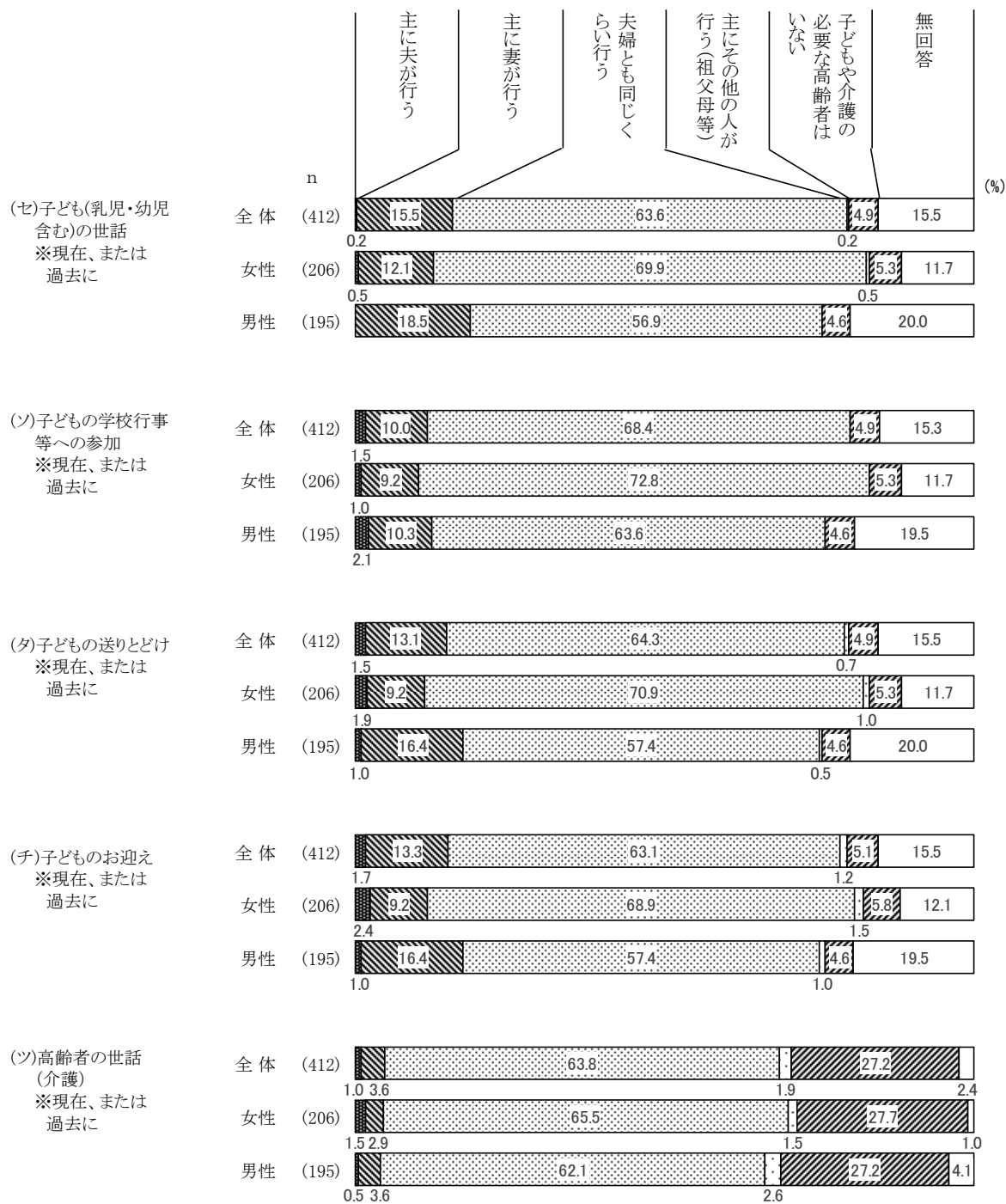
「夫婦とも同じくらい行う」と答えた割合は「(サ)掃除・洗濯」で18.3ポイント、「(コ)食事の支度・あとかたづけ」で17.3ポイント、「(シ)食料品・日用品等の買物」で9.5ポイント、それぞれ高くなっている。

【性別】



調査の結果／2. 家庭について

(3-2) 家事等の役割分担 ②理想と考える仕事の分担



どの項目においても、女性も男性も『夫婦とも同じくらい行う』と答えた割合が最も高く、5割を超えている。

「(ス) 対外的な対応(町内会などのご近所づきあい、親戚づきあいなど)」では『主に夫が行う』と答えた割合は、男性が女性よりも5.1ポイント高くなっている一方、『夫婦とも同じくらい行う』と答えた割合は、女性が男性よりも10.0ポイント高くなっている。

「(タ) 子どもの送りどけ」「(チ) 子どものお迎え」では『主に妻が行う』と答えた割合は男性が女性よりも高くなっている一方、『夫婦とも同じくらい行う』と答えた割合は女性が男性よりも高くなっている。